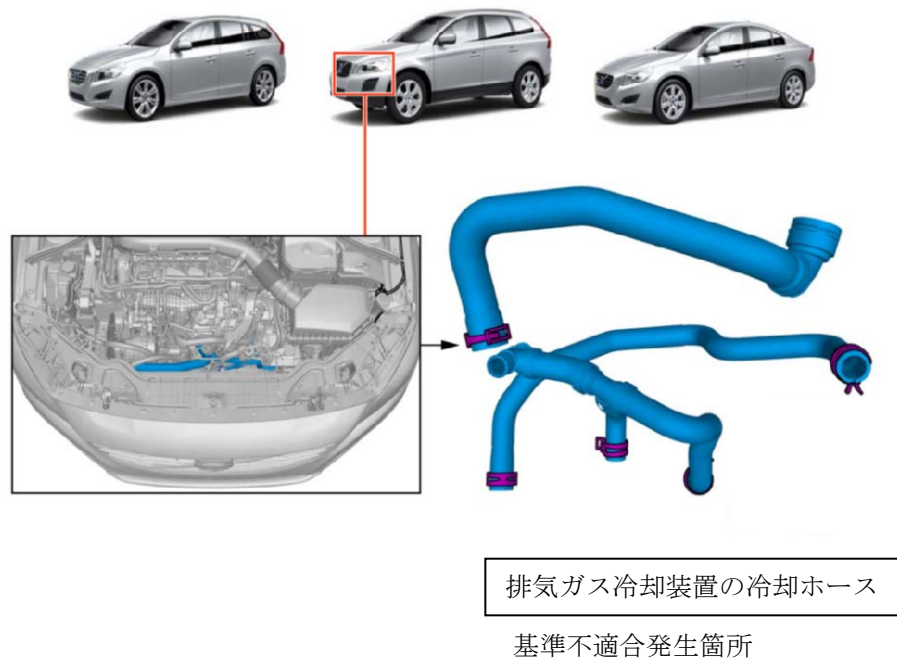


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

ディーゼルエンジンの排気ガス再循環装置（EGR）において、排気ガス冷却装置の冷却方法が不適切なため、排気ガス中の煤が湿気を帯びることがある。そのため、煤がエンジンの吸気バルブへ堆積し密着不良を起こすことで、エンジンの出力低下やエンジン警告灯が点灯し、最悪の場合、インテークマニホールドが溶損し火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、EGR の冷却ホースを対策品に交換し、エンジンコントロールモジュールのプログラムを対策プログラムに書き換えて、周辺のセンサーを清掃する。
なお、インテークマニホールド等に損傷がある場合は、当該部品を新品に交換する。

識別

運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近に外-2968のステッカーを貼付する。

注： は不具合箇所を示す。